

珠玉の輝き

撮影日／平成29年10月23日
撮影地／茜浜緑地



習志野市長

宮本泰介

輝かしい新年を迎えて

市民の皆様明けましておめでとうございます。
平成30年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げますとともに、市民の皆様には、日頃より市政にお力添えを賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は市内の多くの学校にて創立記念式典が行われ、習志野市立習志野高等学校が60周年、習志野市立第一中学校が70周年、第五中学校、第六中学校が40周年を迎えました。

また、昨年は本市の新たなシンボルとなった新庁舎が竣工いたしました。この新庁舎は市民サービスの拠点であり、防災・災害対策拠点としての機能や市民協働スペースとして行政と市民が共に活動できる場所を設置するなど、「まちづくりの中心となる庁舎」を目指す姿としております。皆様に末永く親しまれ、利活用しやすい庁舎となりますよう全職員が一丸となり、きめ細やかな市民サービスを提供してまいります。いずれも関係するすべての皆様が連携され、御協力いただいた賜物です。この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

本市は将来都市像「未来のために」みんながやさしさでつながるまち「習志野」の実現に向け、自立的都市経営の推進に取り組んでおります。本市の財政状況は、社会保障関係経費の大幅な増加や公共施設の再生により、年間に必要な経費は増す一方です。しかしながら、前期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた各種施策を確実に達成し、徹底した財源確保策を進め、「持続のための発展」を念頭に事業を進めてまいりますので、市民の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

習志野高校 創立60周年

～「習志野の王冠たれ」「雑草の如く逞しく」～

文教施策のシンボルとして設立された習志野高校が、創立60周年を迎えました。市民から愛されてきた習高、その軌跡を紹介します。

問合せ
習志野高校

習志野のシンボル誕生

習志野高校は、昭和32年4月、県下2番目の市立高校として誕生しました。当時習志野市は、昭和29年に市制施行をしたばかり。人口わずか3万人程度の小さな市にとって、高校開設はまさに大事業でしたが、そこには未来を担う立派な人材を育てるという白鳥義三郎初代市長の熱い思いがありました。

その白鳥市長が初代校長として白羽の矢を立てたのが、前千葉県教育委員だった山口久太氏でした。山口校長は自ら優秀な教員を集めるとともに、まだ無名の高校の入学案内を持って生徒集めに奔走しました。その熱意と情熱が実を結び、県下最高という3倍もの応募者が集まりました。まだ校舎の建築が間に合わず、津田沼小学校の旧校舎を間借りしてのスタートでした。

斬新な円型校舎

その年の8月、市役所前に建設中の円型校舎に引っ越し。そして、11月5日、待望の校舎が完成し、当時の文部政務次官や県知事の参列の下、盛大に落成式典が挙行されました。円型校舎は、16角形のらせん状構造で、当時世界的にも非常に珍しいものでした。



校歌に寄せる思い

「校歌は習高の人の手で」という山口校長の希望で、山田継雄氏が作詞したものです。山田氏は山形大学助教授の職を辞して習高に着任した英語の教諭でした。校長は、校内新聞の創刊号で次のように語っています。

「私共は、この険しい道を励ましあって前進している今日もこの習志野の花薫る丘々にうつぼつ※として、雲波がわいている。教師諸君よ、生徒諸君よ、さあ前進だ。」

※うつぼつ…盛んに湧き起こるさま



習高魂の継承

市民の大きな期待を背負って歩み始めた習高は、設立間もなく女子バレー部が全日本選手権に出場。運動部が次々と全国大会への出場権を獲得していきました。昭和37年には野球部が甲子園初出場を果たします。また、現在日本一を誇る吹奏楽部も発足し、全国での活躍を後押ししていきました。

ボクシング、サッカー、野球が全国制覇。その後も次々と「日本一」になっていく習高の活躍は、目覚ましいものがありました。白鳥市長は期待を込めて「習志野の王冠たれ」と繰り返し語り、また、山口校長は「踏まれても踏まれてもなお伸びる雑草のように逞しく」と困難に立ち向かう精神を常々説いていました。その精神は、今も脈々と習高生の中に受け継がれています。

地域の皆さんに支えられて

創立当時全日制6学級、定時制2学級で始まった習高も、今年で全日制24学級（定時制は平成26年3月閉課程）となっており、卒業生は、2万人を超えました。

習高のこれまでの発展は、職員、PTA、習友会（同窓会）、後援会の情熱と尽力、そして地域の皆さんの協力と愛情に支えられてきました。創立当時の理想を忘れることなく、未来を担う人材の育成を目標に、「習志野の王冠」としてこれからも「雑草の如く逞しく」躍進を続けていきます！

習志野高校創立60周年記念式典

習志野高校創立60周年を記念して、11月7日に習志野文化ホールにて記念式典が行われました。在校生、学校関係者をはじめ多くの人々が参加した式典は、これからも続く習志野高校の歴史の1ページに刻まれました。



習志野市立
習志野高等学校長
赤松 茂顕

本校は、昭和32年の創立当初から、地域のシンボルとしての発展を願った『習志野の王冠たれ』、さらに生徒及び教職員が一緒になってグラウンドの整地に汗を流す姿に、困難を力に変えることを願った『雑草の如く逞しく』の二つの言葉が60年間に渡って習高魂の象徴として長く標榜されてきました。

習志野市民の皆様方の絶大な御支援、並びに母校愛に溢れた卒業生や情熱に溢れた教職員の努力の成果は、政治・経済・スポーツ・芸術などの各分野において、日本を牽引する稀有な人材を多数輩出し、日本を代表する誇れる学び舎としての地位を確立しました。

また、多くの卒業生が世界や日本各界で活躍する一方で、近隣地域や市内小中学校教員、本校教職員、習志野市職員の方々の中にも多くの卒業生が活躍・生活されています。母校への誇りと習志野高校で経験・成長できたことを後輩たちに伝えたい、さらには育った習志野市で次の世代も育てたいと考えていただいている方々の多さに、改めて人材育成の王道を歩む確かさを感じます。

今後も、引き続き公教育の使命を大切にしつつ、近隣の高校との特色の違いをさらに明確にし、次の世代が習高で成長したいと思える魅力的な学び舎として、創立以来取り組んできた「国際的な視野に立つ豊かな教養を備え、困難を克服する逞しい人材の育成」を具現化する「文武両道」の校風を、一層輝かせたいと思います。



生徒代表
第59代生徒会長
黒川 優乃さん

今年、習志野高校は学校創立60周年を迎えることができました。

実は、私の祖父も第2期生としてこの習志野高校に通っておりました。そして今、孫の私が通っており、長い歴史を感じます。

また、この習志野高校で勉学に励む生徒、部活動に頑張る生徒、行事で活躍する生徒など、皆新たな青春の1ページを飾ることができたことと思います。

私たちがこうして何かに思いきり打ち込められるのは、地域の皆様や保護者、OB、OGの皆様方の御協力・御支援があったからです。本当にありがとうございます。

そして、これからも習志野高校の生徒一人ひとりが充実した学校生活が送れるよう見守ってください。

これからも私たち習高生は、あらゆる場面に遭遇しても「雑草の如く逞しく」、「習志野の王冠たれ」をモットーに進んでいきます。

習志野高校がこれからも末永く続くように応援よろしくお願いいたします。



創立60周年記念
事業実行委員会
委員長（PTA会長）
馬場 祐美さん

本校が60年もの間歩んでこれたのは、卒業生、携わってこられた先生方、保護者の皆様、そして地域の皆様の支えがあってこそでございます。津田沼の地にあった特徴的な円型校舎の時代はもとより、現在の東習志野地区に移転をしてからも、地域の皆様からたくさんのお言葉を頂戴し、習志野高校は成長してまいりました。

ご存知のとおり、本校は部活動が非常に盛んですが、その活動を通じても生徒たちの心の成長を感じることが出来ます。仲間と切磋琢磨し、共に高みを目指す姿は、頼もしく逞しく、また誇らしく思います。そして、その教育がきちんと実を結んでいることは、数々の大会の成績や、多くの卒業生の活躍を見ても明らかです。

『雑草の如く逞しく』この言葉とともに習志野高校があります。そして、それは変わることなく、この理念を胸に何10年先も歩み続けることでしょう。

習志野高校の歴史に60周年という新たな1ページが加えられました。先輩方が築いてこられた60年の輝かしい軌跡を継承しつつ、未来に向かって羽ばたいてほしいと切に願っております。

結びに、関係各所の皆様に感謝申し上げますとともに、今後とも習志野高校にますますの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

習志野高校 創立60周年

習志野高校の思い出

第1期生
小関 和夫さん
初代 生徒会長
初代 硬式野球部
主将



当時の思い出

私たち1期生が習志野高校を語るとき、まず頭に浮かぶのは初代校長 山口久太先生です。山口久太先生が習志野高校の校長として在職された約10年間の卒業生はきっと皆同じ思いであると思います。

特に私にとっては、山口先生の印象がとび抜けて多い気がします。長身でロマングレーの髪、どこにおられても気品を感じました。そして何より私たちの話をよく聞いてくださいました。創立の前年に母子でお会いしたこと、ほぼ毎日のように校長講話があったこと、月に一度校長室に呼ばれいろいろ激励をいただいたこと等です。山口先生は、とにかく学校の代表に相応しい先生で、私たち生徒に夢と希望を与えてくれました。

もし、山口先生が御健在でこの場にいられたならば、後に御自分が創設された八千代松陰高校の卒業生がこの習志野高校の設置者の宮本泰介現習志野市長であり、60周年記念事業実行委員長で現習志野高校PTA会長の馬場祐美さんも八千代松陰高校の卒業生であることで、初代校長として心血を注がれた習志野高校の創立60周年に関わっておられるということに、人生の不思議さと御自分が実践されてこられた教育方針が間違っていないかったことなどを考え、涙もろい山口先生のこと、さぞ感涙されたことと思います。

今後の習志野高校へ

現在の習志野高校生の各部活動の活躍ぶりは千葉県大会はもとより、全国大会でも目覚ましいものがあり、私たち卒業生の誇りでもあります。

今後とも母校のますますの発展と、生徒諸君のますますの御活躍をお祈りいたします。

第17期生
福田 弘俊さん
野球部2回目の
全国優勝時の主将
現 公立学校教員



当時の思い出

『習高野球部7不思議、歴代最弱チームと言われた昭和50年のあのチームがなぜ全国優勝したのか?』その理由を3つ。

- それは、歴代最強チームだったからです。当時のチームを知っている方から「嘘つけ〜」と怒られそうですが、ではなぜ最強なのか? それは「負けなかった」からです。肝心なところで負けなかったからです。だから最強なのです。当時の高校野球のレベルがどうだったかに関わらず、そのレベルの中で負けなかったということが最強だったと思っています。
- それは、「無欲の優勝」だったからです。「勝ちたい」と思わなかったことが千葉県大会を勝ち抜き、そして全国を勝ち抜いた「無欲の優勝」だったのです。なぜ「勝ちたい」と思わなかったのかはなかなか紙面では言い表せないので割愛させていただきます。
- それは、我々17期生の生まれた年が、学校創立、野球部創部である昭和32年だったからです。何かの縁でしょうか? 私は何か思ひ召しがあったように思えてなりません。

今後の習志野高校へ

今でも変わらない蛇腹のあしらわれた男子学生服、当時の円型校舎等々、懐かしい思い出がいっぱいです。習志野高校は千葉県でも特別な、また、貴重な存在であると思っています。それは今も昔も変わりありません。そこに通う生徒諸君、「習高」の名をどんどん全国に轟かせてほしいと思っています。これからも期待しています。

第17期生
石田 正美さん
(旧姓 藤代)
剣道部OG
現在は地元東習志野に
在住し、習志野高校の
学校評議員としても活躍中



当時の思い出

17期生、その多くは昭和32年習志野高校誕生の年に産声を上げ、そして同じ年齢の学び舎の門をくぐり、その高校生活は始まりました。

まだ歴史浅い学校ではありながら、そこには未熟な我々とは違う確かな歴史の土台が出来つつありました。サッカー、野球、ボクシングの全国制覇をはじめ、個々の選手の中にはインターハイ上位入賞、国体出場選手など高校生一流がざらにいた状況でした。

私は中学生から続けている剣道部に入らなかったが、女子部はなく仕方なくバスケットボール部に入ることになりました。しかし間もなく「男子と一緒にやれば」という条件で剣道部への入部が叶い、後に女子剣道部の歴史をスタートさせることになりました。同時に籍を置く美術部の活動をしつつ、休日は市や県のリーダースクラブの活動などで多忙な高校時代でした。

そんな中でも大学進学を望み、「芸術を学びたい」という勝手な生徒に適切なアドバイスを授けてくださった進路指導の尾崎先生には今でも感謝しています。

個性を伸ばせる自由がありながら守られている、後の私の子育てにも影響しました。

結婚して東習志野の地に住み、近年は習志野高校の学校評議員として関わり、母校の姿を見続けることとなりました。そんな中で最近目に留まるのは、生徒同士が互いに尊重し認め合っている姿、おそらく部活同士の応援を通して育まれたのでしょう。学校が穏やかにかつ順調に育っている証だと思います。見ていても気持ちの良いものです。

また、生徒たちの地域への貢献もかなり高く、積極的な社会貢献を指導する先生方が目頭が下がります。

今後の習志野高校へ

在校はたったの3年間でありますが、60年間繰り返して行われ大きく育った習志野高校。それぞれの生徒がエネルギーを燃やす日々がそこには在り、それを導く教師がいる、そして今の習高には欠かせない保護者や卒業生、地域の支援。

今後ますます進化をして、他にない個性ある学校として歴史を繋ぎ、そして関わった全ての人が誇りに思える、そんな母校であってほしいと願います。

今年度活躍した選手

東京オリンピックに向かって



ボクシング部
(バンタム級)
堤 駿斗くん 3年

堤くんは、高校3年間で国内7冠(インターハイ、国体、全日本選手権など)、海外4冠(世界ユース、アジアユース)の合計11冠に輝きました。おごることなく常に謙虚な堤くんです。

今後の目標など

まずは、大学へ進学して東京オリンピックで金メダルを取る。その後はプロに転向して世界チャンピオンが最大の目標。



柔道部
(60kg級)
市川 龍之介くん 3年

市川くんは、目標であったインターハイ(男子個人60kg級)で習高柔道部史上初の全国優勝をはじめ、武道館で開催される伝統ある全国高等学校柔道選手権大会でも2連覇を成し遂げています。堤くん同様おごることなく常に前向きな市川くんです。

今後の目標など

大学へ進学してもっともっと技を磨き、東京オリンピックを目指す。



男子バレーボール部
上條 レイモンドくん 3年

上條くんは、アジアユースU-19の代表になってアジアチャンピオンになったことも大変大きな自信になったようです。バレーボールの技術とともに、195cmの身長はまだまだ伸びている上條くんです。

今後の目標など

1月開催の春高バレー(全日本バレーボール高等学校選手権大会)での全国制覇。昨年3位で悔しい思いがあるので絶対に優勝したい。その後は、もちろん東京オリンピック出場を目指す。



男子バスケットボール部
佐々木 雄哉くん 3年

佐々木くんは、東京オリンピック新種目 3x3 (3人制)のU-18日本代表に選出されてマレーシア、モンゴルで試合をし、アジアでベスト8に入りました。既に、次の目標に向かって猛練習中の佐々木くんです。

今後の目標など

大学へ進学してバスケットボール(5人制)を続けながら、東京オリンピック3x3代表を目指す。また、今後新種目3x3の魅力も伝えていきたい。

今後の習高の活躍に期待を込めて

習志野高校後援会 会長
熊倉 一夫さん



昭和32年に習志野市のシンボルとして創立・開校され、学校創設者である初代習志野市長 白鳥義三郎氏は次代を担う人材の育成を目指し、「習志野の輝く星となれ」という熱い思いを込めて『習志野の王冠たれ』という言葉を送り、初代校長 山口久太氏は市立習志野高校をつくり上げていく生徒・職員の姿を見て「雑草の如く逞しく」という魂の言葉を注ぎ、それらが現在まで脈々と受け継がれ、今年で創立60周年という新たな節目を迎えられたということは大変喜ばしいこととでございます。

後援会といたしましてもこれからの70年、80年に向けて、この習志野高校を全面的に支援してまいりたいと思っています。今後とも、市民皆様の御支援・御声援をお願い申し上げます。

習志野高校習友会 会長
三橋 一夫さん



母校、習志野高校が創立60周年というまた新たな節目を迎えたことを卒業生の一人として大変喜ばしいこととっております。昭和32年に津田沼の地に円型校舎という当時では大変モダンなユニークな建物から習志野高校が始まり、卒業生で組織する習友会の会員も2万1千人を超えるまでになっております。

習友会といたしましても、この伝統ある「習高」の一番身近で強力な「応援団」として後援会と共に習志野高校をバックアップしてまいりたいと思っています。卒業生はじめ、市民の皆様のもすまの御支援をお願いいたします。

N60
1957-2017
60年の歩み

昭和31年12月
設立認可を受ける

昭和32年4月
初めての入学式

当初は、学業面では有名大学進学を目指し、野球では甲子園へ出場できるレベルを目標としていました。目標を達成するために、当時の教職員は優秀な人材を県内のみならず、全国から抜てきしました。

昭和32年11月
円型校舎の落成式典開催(創立記念日)
円型校舎が完成。5日にこれを祝う式典が開催され、この日を創立記念日としました。

昭和36年度
物理同好会
日本学生科学賞
(物理全国1等)

昭和37年度
野球部
甲子園初出場

創部6年目で夢の甲子園に登場。以後、春夏秋冬11回の甲子園出場を果たし、プロ野球選手も数多く輩出しています。

昭和38年度

全日本高校ボクシング選手権大会(団体)優勝
運動部では多くの種目で全国制覇をしている習高。その中でも、全国制覇はボクシング部(団体)が初でした。初のオリンピック選手も東京オリンピックに出場したボクシング部の米倉宝二氏(昭和38年卒業)でした。また、平成29年9月に岩佐亮佑氏(平成20年卒業)がIBFスーパーバンタム級世界王座を奪取し、先輩の栗生隆寛氏(平成15年卒業)、木村 悠氏(平成14年卒業)に続いて習高ボクシング部から3人目の世界チャンピオンを輩出しました(公立高校で3人の世界チャンピオンを輩出したのは全国初の快挙です)。

昭和40年度
全国
高校サッカー
選手権大会
初優勝

昭和42年度
全国高校野球
選手権大会
初優勝

昭和46年度
全国
高校サッカー
選手権大会
優勝
2回目の優勝

昭和41年度
全国高校
バスケットボール
大会(男子)
優勝

昭和43年度
全日本
高校レスリング大会
(個人73kg以上級)優勝
磯貝頼秀氏(昭和44年卒業)が3年在学時にメキシコオリンピックに出場。その後も3大会連続でオリンピックに出場し、モントリオール大会では6位に入賞しました。

昭和41年11月
創立10周年
記念式典開催

昭和48年度
若潮国体で
県内随一を誇る
13の運動部が
強化指定チーム
となる

昭和50年度
東習志野校舎へ
引っ越し

昭和50年度
全国高校野球
選手権大会 優勝
2回目の優勝

昭和56年度
全日本吹奏楽コンクール
初出場で初の金賞受賞

吹奏楽部は、当初高校野球の応援を主体としていましたが、今では部員が200人を超え、活動も多岐にわたっています。全日本吹奏楽コンクールや全日本マーチングコンテストにも数多く出場し、吹奏楽コンクールで金賞23回、マーチングコンテストでは金賞13回と全国トップレベルの吹奏楽部として君臨しております。また、地域との交流も盛んで、各地のイベントで演奏したり、市内の小中学生に演奏を教えたりと、地域のために貢献しております。

昭和54年2月
創立20周年
記念式典開催

昭和62年11月
創立30周年
記念式典開催

平成9年11月
創立40周年
記念式典開催

平成14年度
栗生隆寛氏が
ボクシングで
当時前人未到の
高校6冠を達成

平成13年3月
セミナーハウス「習友館」完成

昭和59年度
全国高校バレーボール
選抜優勝大会(男子)優勝
藤山弘道氏(昭和61年卒業)が高さを生かしてエースとして活躍。卒業後には先輩の杉本公雄氏(昭和51年卒業)とともにソウルオリンピックに出場しました。

平成18年度
生物部
日本学生科学賞
(入選1等)

平成25年度
体操部 萱 和磨氏
(平成27年卒業)が
国際ジュニア体操
競技大会で優勝

平成26年3月
定時制閉課程に
伴う式典開催

平成19年11月
創立50周年
記念式典開催

平成27年度
体操部 中川将徑氏
(平成29年卒業)が
国際ジュニア体操
競技大会で優勝

平成28年度
ボクシング部 堤 駿斗選手が
世界ユースボクシング選手権
およびユース国際ボクシング
トーナメントバンタム級で
優勝

平成28年度
柔道部 市川龍之介選手が
全日本高校柔道選手権大会
60kg級で2連覇を達成

平成28年3月
グラウンド
人工芝生化
完成

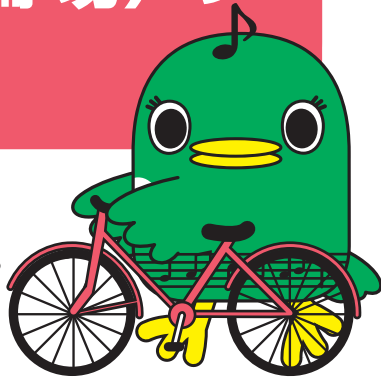
平成29年11月
創立60周年
記念式典開催

平成29年11月
ボクシング部
堤 駿斗選手が
全日本ボクシング
選手権大会
バンタム級で優勝

始まり
ます！

平成30年度 自転車等駐車場(駐輪場)の 申込受付

問合せ 防犯安全課



申込資格

市民・市民以外を問わず、通勤・通学などのため、
自転車等駐車場(以下、駐輪場)の利用を必要とする人。

- 注意事項
- 申し込みは1人1台、1カ所の駐輪場に限り(法人登録不可)。
 - 利用される人の名義で申し込みしてください。
 - 利用対象は、自転車および総排気量50cc以下(白ナンバー)の原動機付自転車(以下、原付)です。

抽選となる駐輪場の申し込み

申込方法

■申込書類(手引書)の配布

1月12日(金)から、防犯安全課(市役所4階)、JR津田沼駅南口連絡所、各駐輪場管理人室、市内各駅で配布します。

■申し込み

1月15日(月)から2月7日(水)(消印有効)までに下記の必要なもの①～④を同封の上、〒275-8601習志野市役所防犯安全課自転車対策係へ郵送または持参してください。

■必要なもの

- ①手引書にある利用登録結果通知兼申請書
- ②身分証明書の写し(利用者の氏名・現住所・生年月日が確認できるもの)
- ③返信先(ご自宅)を記入した返信用封筒(切手貼付)《免除対象者のみ》
- ④公的機関等が発行する証明書の写し(免除対象については手引書参照)

■抽選結果

3月9日(金)に抽選結果を発送する予定です。なお、3月16日(金)までに抽選結果が届かない場合は、防犯安全課にお問い合わせください。応募期間終了後の応募、記入漏れ、記入内容が不明なもの、必要書類の不備・不足は、申請が無効となります。
詳細は、必ず手引書をご確認ください。

整理手数料の納入

当選通知書に同封の納入通知書により、お支払いください。納入場所は市の収納事務を取り扱う金融機関(納入通知書に記載)または防犯安全課です。

■支払期間 3月12日(月)から4月5日(木)

ステッカー等の交付

■期間 3月15日(木)～4月5日(木)

※期間内にステッカー等の交付を受けない場合は、事由のいかんに関わらず当選が無効となります。

■交付場所

指定された駐輪場管理人室(平日、土曜日)または防犯安全課(平日のみ)

※駐輪場によりステッカー等の交付場所が異なります。詳しくは下表を参照してください。

■必要なもの

- ①整理手数料の領収書
- ②利用登録結果通知書

《免除対象者のみ》

- ③自転車等駐車場利用整理手数料免除申請書

※その他、詳細は必ず手引書をご確認ください。

■抽選となる駐輪場一覧表(9施設)

地図	駐輪場名	車種*	収容台数	屋根	ステッカー交付場所
1	C 京成津田沼駅北口	自	90	無	防犯安全課
2	F1 京成大久保駅北口	自	750	無	F3管理人室
	F4 京成大久保駅北口第四	自	200	無	
3	Z 京成実籾駅第三	自	200	無	H管理人室
4	L JR津田沼駅北口(1・2階)	自	1,200	有	L管理人室
	P JR津田沼駅北口第二	原	300	無	
	O JR津田沼駅北口第四	原	100	無	
	J JR津田沼駅南口千葉工大前	自	70	無	
	K JR津田沼駅南口第二	自	1,500	無	K管理人室

※自…自転車、原…原付(50cc以下)

◆M駐輪場は、一時利用専用の駐輪場であり、抽選対象ではありません。

随時募集となる駐輪場の申し込み

3月15日(木)から受け付けを開始します。希望する駐輪場により受付場所が異なりますので、詳細は手引書を参照してください(手引書は3月中旬から防犯安全課で配布予定)。

■随時募集となる駐輪場一覧表(14施設)

地図		駐輪場名	車種※1	収容台数	屋根	受付場所
1	D	京成津田沼駅南口(2・3階)	自	1,550	有	
	W	京成津田沼駅北口第二	原	60	無	
2	F3	京成大久保駅北口第三	自	280	無	防犯安全課
			原	30		
	E※2	京成大久保駅南口第二	自	850	無	
			原	20		
3	H	京成実籾駅	自	1,000	有	H管理人室
	Z	京成実籾駅第三	原	20	無	U管理人室
	U	京成実籾駅南口	自	530	無	
			原	20		
4	N	JR津田沼駅北口(屋上)	自	600	無	
	K	JR津田沼駅南口第二	原	250	無	
5	A	京成谷津駅北口	自	270	無	防犯安全課
			原	10		
	B1	京成谷津駅南口	自	150	無	
	B2	京成谷津駅南口第二	自	80	無	
原			10			
6	S	JR新習志野駅前	自	1,700	有	S管理人室
			原	100		
	T	JR新習志野駅第二	自	170	無	

※1 自…自転車、原…原付(50cc以下)

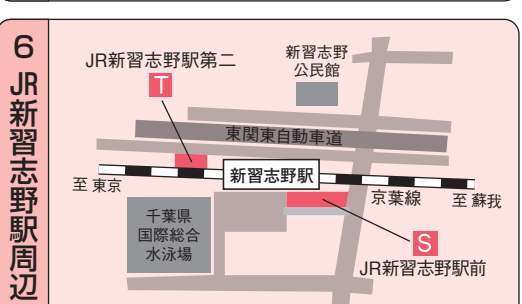
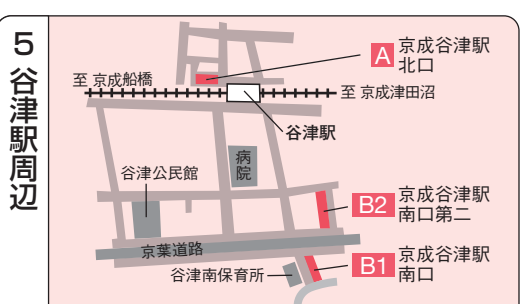
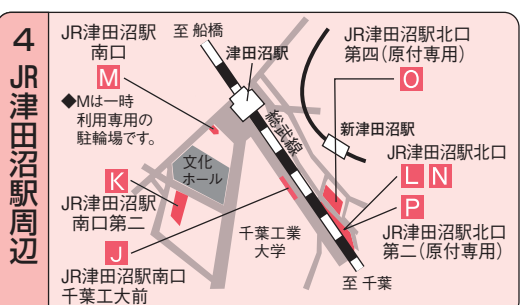
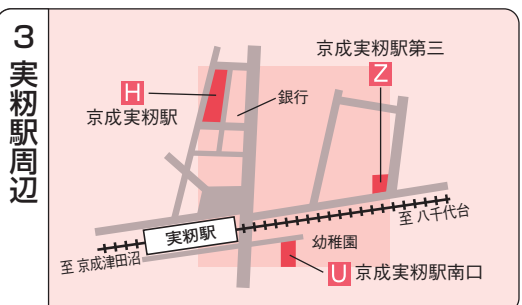
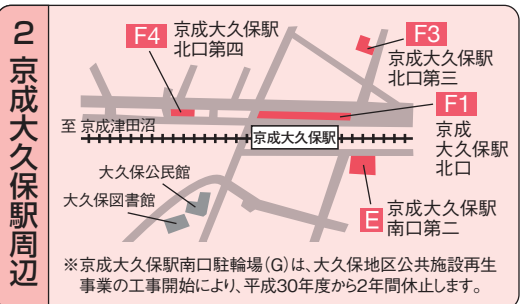
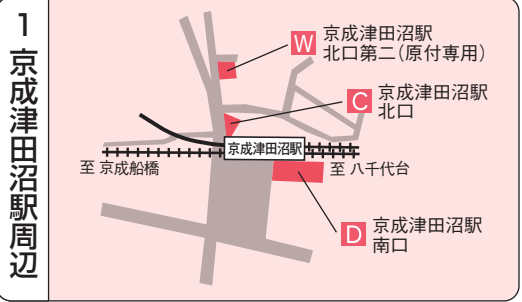
※2 京成大久保駅南口第2駐輪場(E)は、平成30年度から随時募集になります。

年間整理手数料(利用料金)

種別	屋根	利用者	年間整理手数料	
			市民	市民以外の人
自転車	有	一般	7,310円	14,620円
		高校生以下	3,650円	7,310円
	無	一般	4,390円	8,780円
		高校生以下	2,190円	4,390円
原付(50cc以下)	有	全員	11,700円	23,400円
	無		7,020円	14,040円

※市民とは習志野市に住民登録がある人です。習志野市に住んでいても、住民登録していない場合は、市外料金となります。

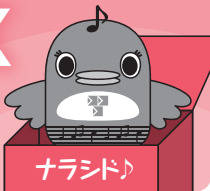
※高校生以下とは平成30年4月1日以降も、小・中学校、高等学校に在学している人を対象としています。



凡例 日日時 所場所・会場 対象者 定定員(特に記載のないものは先着順) 費用(特に記載のないものは無料) 持ち持ち物 申込み 問問合わせ

お知らせBOX

市役所への問合せ ☎047(451)1151代
市役所への郵便物 〒275-8601
「習志野市役所〇〇課」で届きます



市役所から

インターネット公売の実施

市税などの滞納により差し押さえた財産のインターネット公売を実施します。

申込期間＝1月10日(水)午後1時～1月23日(火)午後11時

入札期間＝1月30日(火)午後1時～2月6日(火)午後1時

※詳細は市ホームページ参照または要問い合わせ

問債権管理課

習志野都市計画下水道(習志野市第1号公共下水道)の変更案の縦覧

縦覧期間＝1月5日(金)～19日(金)までの平日午前8時30分～5時
意見書の提出＝1月19日(金)(消印)

有効)までに下水道課で配布の用紙を郵送または持参で〒275-0015鷺沼台1-10-16企業局研修センター2階 下水道課へ
対市内在住または利害関係のある人(法人可)
所問下水道課
☎(477) 5351

講座・催し

谷津干潟自然観察センターから

所問谷津干潟自然観察センター
☎(454) 8416

〈谷津干潟で初もうで2018〉
各日午前11時～先着100人に
おしるこを配布

日1月2日(火)・3日(水)費入館料
〈絵を描いてオリジナル缶バツ

チを作ろう〉

日1月13日(土)・14日(日)各日午前10時～4時費500円(別途入館料)

〈干潟の音楽会～美しき日本の風景を叙情的に奏でる癒しのひと時～〉

日2月3日(土)午後6時30分～7時45分 定100人 費2,000円(飲み物代含む)

※要事前申し込み(受付1月4日(水)～)

〈上達が実感できるぬり絵教室～ぬり絵のコツはここにあった!〉

干潟に来るカワセミの塗り絵
日2月4日(日)午前10時30分～正午、午後2時～3時30分

定各20人 費800円
※要事前申し込み(受付1月4日(水)～)

〈干潟の恵みでおいにぎらす体験教室〉

日2月4日(日)午前11時～1時 定15組(小学2年生以下は保護者同伴) 費1,000円(飲食代含む)

※要事前申し込み(受付1月4日(水)～)

〈ぶらっと観察会「婚活中の鳥たちを見てみよう」〉

日2月12日(月祝)午前10時～午後0時30分 対小学生以上(小学生

は保護者同伴) 定25人 費100円
※要事前申し込み(受付1月6日(土)～)

袖ヶ浦どんと焼き

火の輪くぐり、和太鼓演奏など

日1月7日(日)午前10時30分～正午(たき上げる古札などの受付は午前10時～10時30分)

所袖ヶ浦西近隣公園
持どんと焼きで焼くための餅

問袖ヶ浦公民館
☎(451) 6776

新春ロビーコンサート

お琴・尺八・太鼓による春の調べ
日1月28日(日)午後1時～3時 定70人

所問実花公民館
☎(477) 8899

大人の工作体験講座

LED照明の竹灯籠を制作
日1月30日(火)午後0時30分～4時30分 定10人 費2,300円 持軍手

所申東習志野コミュニティセンター
☎(475) 9901

リサイクル体験教室

「靴下で作るぬいぐるみ」

日1月18日(木)午前9時30分～正午 対市内在住 定12人 持靴下・刺繍糸・リボン・裁縫道具

所申リサイクルプラザ
※京成津田沼駅から送迎あり。

午前9時15分出発。
☎(453) 0530

自分も相手も大切に Happyな人間関係を築くコミュニケーションアサーティブトレーニング講座

日2月1日(木)・8日(木)・23日(金)各日午前10時～正午(全3回)

所サンロード津田沼6階 対市内在住の子育て中の女性 定30人※保育あり、25人(要予約)

申市ホームページからの送信で男女共同参画センターへ

☎(453) 9307

訪問看護基礎研修会

日①1月20日(土)午前9時30分～午後0時30分 ②2月6日(火)午前9時30分～3時30分

所看護会館(千葉市)
対看護師免許を有する人

申①1月18日(木) ②2月2日(金)までに県看護協会へ

☎043 (245) 1712

男性のためのヨガ教室

日1月26日、2月9日各金曜日午前10時～11時30分(全2回)

対市内在住の60歳以上
定18人 費1,000円

所申東部保健福祉センター内芙蓉園(受付1月5日(金)～)

☎(476) 9596

民族音楽を楽しむ

アイルランド音楽の鑑賞など
日2月10日(土)午後2時～5時 定40人

所申大久保公民館(受付1月9日(火)～)
☎(476) 3213

津田沼一丁目フリーマーケット

日1月14日(日)午前10時～3時30分

所新津田沼駅2階連絡通路
問市商店会連合会
☎(455) 1955

パソコン入門講習

日2月8日・15日・22日各木曜日午後1時15分～4時45分(全3回)

所大久保公民館 定15人 費3,000円
申1月26日(金)(消印有効)までに往復はがき(住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入)で〒275-

0001東習志野2-18-11-1012市民カレッジPC委員会 西田へ

☎(479) 7245

五市合同技術・家庭科作品展

習志野・船橋・市川・八千代・浦安市内中学校、義務教育学校、特別支援学校による作品展

日1月17日(水)～21日(日)各日午前9時～4時30分

所県現代産業科学館(市川市)

問八千代市立八千代中学校内葛南地方技術教育センター

☎047 (482) 3232

千葉県北西部地区文化財発表会「まちづくりのヒストリア」

奈良・平安時代の谷津貝塚の発表あり

日①発表会・ワークショップ＝1月27日(土)午前9時30分～3時40分 ②展示会＝1月13日(土)～3月11日(日)

所①流山市生涯学習センター ②流山市立博物館

問流山市立博物館

☎04 (7159) 3434

1月22日(月) 市役所1階に レストランがグランドオープン!

問合せ 契約検査課

プレオープン

通常メニューの中から限定メニューが特別価格で提供されます。

日時 1月16日(火)～18日(水)の3日間 午前11時から午後3時

グランドオープン

営業日時 月～金曜日 午前9時から午後4時(祝日、年末年始を除く)

ランチ時間 午前11時30分から午後2時30分 食事はランチ時間のみ。それ以外の時間は軽食・飲み物の提供になります。

運営事業者 株式会社 西原屋

1Fメイン入口

レストラン

1月9日(火)から住民票などのコンビニ交付サービス開始!



マイナンバーカード(利用者証明用電子証明書が記載されているものに限る)を利用して、全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機で住民票など各種証明書が受け取れるコンビニ交付サービスが1月9日(火)から始まります。※マイナンバーカード申請時に「利用者証明用電子証明書」を不要とした場合、コンビニ交付は利用できません。市民課にマイナンバーカードを持参の上、本人が「利用者証明用電子証明書」の発行申請を行ってください。※マイナンバーカードの取得は通知カードと一体になっている申請書を使用して申請できる他、インターネットからの申請も可能です。詳細は市民課にお問い合わせください。

利用可能時間・取得できる証明書

※年末年始(12月29日～1月3日)およびシステムメンテナンス日は除く

毎日(土・日曜日、祝日含む) 午前6時30分～午後11時	●住民票の写し・記載事項証明書 ●印鑑登録証明書 ●市県民税課税(非課税)証明書 ●所得証明書
平日(市役所開庁日)のみ 午前9時～午後5時	●戸籍全部(個人)事項証明書 ●戸籍の附票の写し ※習志野市に本籍がある人のみ

※コンビニ交付では、窓口での申請と異なる制約事項があります。詳細は広報習志野平成29年12月1日号または市ホームページをご覧ください。

水曜窓口延長(市民課証明書窓口時間延長サービス)を終了します

毎週水曜日市民課(市役所GF)にて、証明書窓口を午後7時まで延長して実施していましたが、利用者の減少が著しいことから、3月28日(水)を最後に終了します。今後につきましては、午後8時まで開庁しているJR津田沼駅南口連絡所(モリシアレストラン棟7階)、またはコンビニ交付サービスをご利用ください。

問 合 せ

市民課

住民票、印鑑証明書、戸籍証明書、コンビニ交付・マイナンバーカード全般について

税制課

課税・非課税証明書、所得証明書について

マイナンバーカード(個人番号カード)



※証明書発行時、利用者証明用電子証明書の4桁の暗証番号の入力が必要です。

利用可能店舗

全国のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップ 他

平成29年度 習志野市 危機管理講演会

明日も晴天とは限りません!

台風やゲリラ豪雨、線状降水帯など、これまで経験したことのない風水害が私たちの生活を脅かしています。わたしたちはどのように備えるべきでしょうか？

NHK「おはよう日本」でおなじみの気象予報士・平井信行さんを講師に招き、最近の気象状況について講演していただきます! ぜひ、お越しください。

演題 最近の異常気象 ～竜巻、猛暑、豪雨、大雪

日時 1月20日(土) 午後1時～2時50分 (午後0時15分開場)

場所 市民会館(京成大久保駅前)



講師 気象予報士 平井 信行氏

お詫びと訂正

広報習志野12月15日号9ページに記載しました「習志野文化ホール1月 主な催物」において8日(月祝)の催物名「平成30年「成人式典・新成人を祝う集い」」と記載すべき箇所を「平成30年度「成人式典・新成人を祝う集い」」と記載しておりました。お詫びして訂正します。

凡例 日日時 所場所・会場 対象者 定定員(特に記載のないものは先着順) 費用(特に記載のないものは無料) 持ち持ち物 申込み 問問合わせ



保健だより

申込み・問合せ

健康支援課

☎047(451)1151(代)

●夜間・休日の当番案内 ☎047 (452) 9900
 ●こども急病電話相談 ☎ #8000 毎日・夜間 午後7時～翌午前6時
 ●千葉県救急医療情報ネットワークによる案内
 [URL] <http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/> [FAX] 0120 (963) 499
 ●休日急病歯科診療所の診療日 1月1日(月祝)～3日(水)・8日(月祝) 午前9時～正午
 ◆保健会館は旧第四分室に移転しました。

こどものコーナー

★お子さんの転入・予防接種などの手続きには母子健康手帳をお持ちください

4か月児・10か月児健康相談

発育・発達の確認および保健師・管理栄養士(4か月児)・歯科衛生士(10か月児)による相談など ※対象者には郵送で通知

1歳6か月児・3歳児健康診査

対象	◆保健会館	県健康福祉センター
1歳6か月児 (28年6月生まれ)	1月23日(火)	1月25日(木)
3歳児 (26年7月生まれ)	1月16日(火)	1月19日(金)

受付 午後1時～2時

※対象者には郵送で通知(転入者や通知が届いていない人などは健康支援課へ)

離乳食教室(予約制)

日程	会場
1月12日(金)	大久保公民館
2月16日(金)	
1月18日(木)	谷津コミュニティセンター
2月7日(水)	

時間 午前10時45分～11時30分

対象 市内在住の5～6か月児(第1子)と保護者

定員 各回20組(先着順)

費用 無料(試食はありません)

持ち物 母子健康手帳・抱っこひも・『離乳食のすすめ方』冊子

歯みがき教室(予約制)

日程	会場
1月24日(水)	◆保健会館
1月30日(火)	プレーメン習志野

時間 午前10時・10時30分・11時

対象 市内在住の1～3歳の幼児

持ち物 母子健康手帳・歯ブラシ・コップ・タオル

妊婦健康診査を受けましょう

母子健康手帳交付時に、14回分の受診票をお渡しします。なお、1回目の受診は妊娠8週前後に行われる検査のため、妊娠と診断されたら、早めに母子健康手帳の交付を受け、定期的に受診しましょう。

妊娠ホットライン

不妊や予期せぬ妊娠などに電話で相談に応じます(予約優先)。☎(453)2967

日時 1月12日(金)、2月9日(金)午前10時～2時

対象 市内在住

子育てふれあい広場(幼稚園・こども園)

親子一緒にさまざまな遊具で自由に遊び、園児との交流も楽しみましょう。

会場園名	1月	会場園名	1月
東習志野こども園	11日(木)	屋敷津田沼	17日(水)
新栄谷津	◎15日(月)	向山	◎25日(木)
	16日(火)	香澄	2月1日(木)

※◎印はおもちゃ病院同時開催日

※雨の日も室内で開催 ※駐車場なし

※各市立幼稚園・市立こども園・市立保育所独自開放については各施設にお問い合わせください。

時間 午前10時～11時30分

対象 市内在住の乳幼児とその家族

持ち物 上履き(はだし可)・こども用名札

問合せ こども保育課または各開催園

おとなのコーナー

歯と口の健康チェックを受けましょう!

〈成人歯科健康診査〉

内容 問診、口腔内診査、歯周疾患検査

対象 40歳(昭和52年4月1日～53年3月31日生)
 50歳(昭和42年4月1日～43年3月31日生)
 60歳(昭和32年4月1日～33年3月31日生) 妊婦

実施時期 3月31日(土)まで

実施機関 市内実施歯科医療機関(要予約)

持ち物 保険証・母子健康手帳(妊婦)

費用 400円 条件により減免制度あり(要事前申請)

問合せ 健康支援課

〈お口の安心健康チェック〉

内容 問診、お口・口腔機能のチェック

対象 65歳(昭和27年4月1日～28年3月31日生)
 70歳(昭和22年4月1日～23年3月31日生)
 80歳(昭和12年4月1日～13年3月31日生)

実施時期 3月31日(土)まで

実施機関 市内実施歯科医療機関(要予約)

持ち物 保険証

費用 400円(70・80歳は無料) 条件により減免制度あり(要事前申請)

問合せ 高齢者支援課

健康づくり推進員による 習志野発見ウォーク

谷津干潟探索コース(約7km、約2時間)

日時 1月9日(火)午前9時受付(雨天中止)

会場 鷺沼城址公園(鷺沼1丁目9)集合、谷津公園解散 費用 100円

特定健康診査・後期高齢者健康診査

市の無料健診は3月31日(土)までです。

対象 40歳以上の習志野市国民健康保険加入者・後期高齢者医療加入者

持ち物 受診券・被保険者証

※受診券の再発行や、年度途中で国民健康保険に加入した人はお問い合わせください。

※津田沼中央総合病院の受付の曜日・時間が変更となりました。

のうりょく 脳力あつぷ教室(認知症予防教室)

～高齢者の健康づくりを応援します～
 「脳トレ」や簡単な運動、その他栄養や口腔について学びます。

日程	会場
2月1日～3月8日の 毎週木曜日	東部保健福祉センター
2月7日～3月14日の 毎週水曜日	総合福祉センター
2月19日～3月26日の 毎週月曜日	プレーメン習志野

対象 市内在住の65歳以上

時間 午後1時～3時 費用 無料

定員 各会場15人(先着順) ※今年度すでに参加した人は申し込みできません。

申込み 電話で高齢者支援課へ(受付1月4日(木)午前9時～)

2月の認知症高齢者介護相談(予約制)

日程	会場
2月7日(水)・21日(水)	サンロード津田沼6階 市民相談室

時間 午後1時30分～3時30分

対象 認知症の心配がある本人または家族

内容 精神科医による相談

申込み 1週間前までに高齢者支援課へ

HIV抗体検査およびB型・C型肝炎検査

日程	時間
1月4日(木)	日中:午後1時～2時
2月1日(木)	夜間:午後5時15分～6時15分
1月18日(木)	日中:午後1時～2時

※ HIV 抗体検査結果は即日口頭説明可
 ※梅毒・クラミジアの検査も受検可 ※匿名可

会場・申込み 県習志野健康福祉センター
 ☎(475) 5154

食生活なんでも相談(予約制)

管理栄養士が相談に応じます。

日程	会場
1月10日(水)、2月9日(金)	◆保健会館

※都合がつかない場合は応相談

時間 午後1時30分～4時 対象 市内在住

習志野市
広報課

〒275-8601 習志野市鷺沼2-1-1
 ☎ 047(451) 1151(代)
 FAX 047(453) 9313
<http://www.city.narashino.lg.jp/>

市の人口

H29.12.1現在
 ※住民基本台帳
 に基づく

・総人口…172,694人 (171,635人)
 ・男…86,239人 (85,801人)
 ・女…86,455人 (85,834人)
 ・世帯数…78,317世帯 (77,235世帯)
 ※()内はH28.12.1時点

次号の予告

変更の場合あり

・平成28年度一般会計財務書類
 他